

東海村子ども読書活動推進委員会(令和4年度第2回)議事録

日時	令和4年11月30日(火) 14:00~15:40
場所	図書館 研修室3
出席	委員8名、事務局3名
欠席	委員1名
議事	(1)「第三次東海村子ども読書活動推進計画実施計画」の進捗状況について (2)意見交換 (3)その他

【要点】

(1)「第三次東海村子ども読書活動推進計画実施計画」の進捗状況について

【「家読リスト」に関する委員からの意見】

- ・表紙画像やイラスト、平仮名を入れた方がよい。
- ・素材は集めておきテーマごとに時期をずらして公表する(vol1,vol2...)と負担減になる。
- ・配布先は親だけでなく実際に読む世代まで届けたい。
- ・保育所・幼稚園への依頼は、役場アンケート機能で期限を決めて投げると答える側も返しやすい。

(2)意見交換

【幼稚園での取組みと課題】

- ・親子向けに絵本の貸出を始めたが、借りるのは同じ親子。借りても家で読まない親子もいる。
- ・昔やっていた保護者ボランティアによる読み聞かせを実施したくても、今は就労が多くなり難しい。

【小学校での取組みと課題】

- ・図書館で本を借りて終わりで家読までいかない。「借りた本を持ち帰る」を目標にし、親に読んでいる本を知ってもらうことから始めた。
- ・「いえどく」と読む人が多く修正が大変。漢字ひらがな併記がよい。

【中学校での取組みと課題】

- ・家読おすすめ本の選び方、生徒への出し方については、テーマやキーワードを決めるとやりやすい。
- ・家読のきっかけとして、イベント、宿題「親が昔読んだ本の話をする」などもよい。

【高等学校での取組みと課題】

- ・校内文化祭で教職員と図書委員に呼びかけ約60冊の家読リストを作成した。

【共通】

- ・親が就労で忙しくなる前に、ブックスタートなどで家読の大切さを伝えるとよい。
- ・中高生は親子に限定せずに、友達など横のつながりでもよいのでは。味見読書など。
- ・コロナ禍のため家読自体を進めたい。親子でテレビを見て対話し、そこから読書に移行するのも良い。きっかけは狭めなくてよい。
- ・漫画、親世代にとって懐かしいものなら取り組みやすい。
- ・家読おすすめ本には、親子で共有できる「日常性」と、調べたいなどの「探求性」があるとよい。
また、「親子、友達と考えてみよう」などの手がかりがあるとやる気になる。
- ・小さいこと、できることからやっていくのが良い。

(3)その他

- ・電子図書館導入検討について
- ・第3回会議は2月を目途に、後日送る「日程調整票」で調整する。